

令和3年7月19日

福岡医療専門学校
校長 藤瀬 武 殿

学校関係者評価委員会
委員長 下迫 勇夫

学校関係者評価委員会報告

令和2年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

- 1 学校関係者評価委員会 委員 (五十音順 敬称略)

東 りか	はり灸・整骨院 Re.庵 代表
上野 啓介	うえの整骨院 院長 6期卒業生
北原 孝子	朝日ホーム有限会社 顧問
木下 健一郎	有限会社ひかり (通所介護ライズ) 代表取締役
行徳 倫子	医療法人正明会 諸岡整形外科病院・クリニック 看護部 管理者
下迫 勇夫	福岡医療専門学校 非常勤講師
山中 知愛	医療法人 西福岡病院 放射線科 科長
- 2 学校関係者評価委員会の審議スケジュール
 - (1) 自己点検・自己評価報告書の書面審議 (令和2年度)
 - (2) 令和3年6月19日 (土) 学校関係者評価委員会開催
- 3 学校関係者評価委員会報告
別紙のとおり

以上

別紙

I 重点目標について

1 重点目標 「教育活動・学修成果」について

- 令和2年度の国家試験結果は、柔道整復科、鍼灸科、看護科は合格率100%で全国トップの成績であった。理学療法科と診療放射線科は全国平均を上回る合格率を維持することができた。来年度は国家試験全員合格の目標に向け、国家試験対策の早期始動を望む。
- 複数担任制や就職支援等の、学生支援体制の整備がなされている。

2 重点目標 「職業実践課程」について

- 職業実践専門課程を指導する教員において、更なる知識向上に努めるため、FD研修や外部研修会への積極的な参加の継続を推奨する。
- 学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等の意見を反映した教育課程の編成ができています。また、教育環境の整備、地域医療機関等との連携による職業教育の質の確保ができています。

3 重点目標 「大学設置に向けた取組み」について

- 大学教育に相応した教育環境の整備がなされている。大学設置の目標達成に向けた取り組みの継続を望む。

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・人材育成像

評価・意見	4段階 評価平均
<p>○ 教育理念に基づき、教育目標に望まれる人材育成ができています。 特に人間性においては道徳、社会人教育が重要である。行動力・思考力・協調性の3つの基礎力向上への取り組みを期待する。</p> <p>○ コミュニケーション上、重要なツールである「挨拶」の徹底を継続して欲しい。また、道徳心を養う基礎科目の導入の検討を願う。</p>	4

2 学校運営

<p>○ コロナ禍の影響により、学校運営における多くの軌道修正が求められた中で、迅速な対応、合理的な学校運営ができています。その背景には、確固たる運営組織および意思決定システムが確立されていることが理解できる。</p>	3.9
---	-----

3 教育活動

<p>○ 在宅看護、通所リハビリテーション等の現場を再現できる在宅実習室の設置など実践的な職業教育を行う環境整備がなされている。</p> <p>○ 新しい学事システムの導入により、正確な成績評価、管理を行っている。適切かつ厳正な業務遂行を期待する。</p> <p>○ 専門性の高い教職員の確保ができています。コロナ禍においても、教員のスキルアップの為に外部研修会への参加や最新の医療情報収集に努めて頂きたい。</p>	3.9
--	-----

4 学修成果

<p>○ 国家試験合格率は柔道整復師 100%、はり師・きゅう師 100%、理学療法士 90%、診療放射線技師 79.7%、看護師 100%であった。理学療法科、診療放射線科においてわずかに点数が不足、目標達成には至らなかったが、この結果を踏まえ、国家試験対策の早期始動を望む。</p> <p>○ 求人においては、就職希望者は 100%の就職率の結果であった。今後も就職支援室を中心に、求人情報、履歴書指導、学生の性格や将来を見据えた就職活動の支援を期待する。</p>	3.8
--	-----

5 学生支援

<p>○ 遠隔授業支援準備金等、コロナ禍における学生の経済的側面に対する支援が評価できる。</p> <p>○ 複数担任制の導入、保護者との連携、さらに学生支援課の設置により学生への支援体制が確立している。今後もこの支援体制を強化し、多様な学生への指導を望む。</p>	3.9
---	-----

6 教育環境

<p>○ PC ルーム、図書館等を中心に、学習環境がしっかりと整備がされている。また、実践的な職業訓練が可能な在宅実習室の設置等教育環境は充実している。</p> <p>○ コロナ禍において外部実習の変更や中止が生じた場合でも、変更に対応できる指導教員の配置、実習室の整備がなされている。</p>	3.7
---	-----

7 学生の募集と受入れ

<ul style="list-style-type: none">○ 学納金等は、学校案内、学校ホームページ等に明確に表示されており、分かりやすい。今後も個別相談等の機会を設け丁寧な対応を望む。○ コロナ禍における学生募集、入学選考については、適切に行われている。	3.9
--	-----

8 財 務

<ul style="list-style-type: none">○ 適正な監査の実施、情報の公表ができています。	3.9
--	-----

9 法令等の遵守

<ul style="list-style-type: none">○ 法令等の遵守は適切である。○ 遠隔授業などの実施が多くなる為、教職員および学生の情報漏えいについてのリスク管理意識を高めてもらいたい。	3.5
--	-----

10 社会貢献・地域貢献

<ul style="list-style-type: none">○ 授業以外でのボランティア活動の取り組みを強化し、学生の経験値を高めることを期待する。	3.7
--	-----

まとめ

各評価項目の評価は、平均3.8（4段階評価）であり、概ね高水準が維持されている。コロナ禍における学校運営、教育活動の対応等から、学生に対して教育活動を真摯に取り組んでいることが理解できる。

また、知識・技術・人間性を兼ね備えた人材を育成する上で、「道德教育および社会人教育」が重要である。今後の職業実践専門課程の中で「道德教育および社会人教育」を反映させ、さらなる人間性重視の人材育成に期待する。